

宮崎市立宮崎東中学校 自己評価書

学校教育目標： 気品ある風格と見識を備え、粘り強い実践力・温かい真情に満ちた生徒の育成

評価項目		1	2	全	自己評価	具体策
生徒像	1 自主的に学ぶ生徒に育っている(知力:学力向上、時を守る)	2.7	2.3	2.5	<ul style="list-style-type: none"> ・保健室利用は少なくなっているが依然として多く、全般的に体力がない。自主性とたくましさ及び礼儀面において、教師と2者の差がありすぎる。 ・朝のあいさつ運動でも、元気がなく小さな声であいさつするので、教師も一緒にあいさつ運動を行っていきたい。また、ボランティア活動も、まだ、やらされている感じがする。機会を増やしていき、心を育てていきたい。 	<ul style="list-style-type: none"> ○生徒の自主性を育てるために、行事に関しては学級で提案された事項を委員会で回り、再度学級で図るようなシステムにする。そのために、提案を早めに行う。 ○ボランティア活動は、小学校との連携や地区との連携を図り実施する。 ○保護者と連携をもっと密にとる。
	2 健康でたくましい生徒に育っている(体力:部活動、健康面)	2.4	2.3	2.3		
	3 礼儀正しく思いやりのある生徒に育っている(心情:あいさつ)	2.6	2.4	2.5		
	4 責任を持って粘り強く行動する生徒に育っている(実践力:行事、係り活動)	2.7	2.5	2.6		
	5 進んでボランティアをしようとする生徒に育っている(誠実:清掃)	2.3	2.2	2.3		
学校像	6 明るく静かで潤いと活力のある学校である	2.8	2.4	2.6	<ul style="list-style-type: none"> ・教師自ら生徒に希望をもたせなくてはならないのに、値が低いのは問題である。様々な研修を計画的に図っていききたい。 ・環境整備においては磨き上げる美しさがもう少し欲しい。 ・生徒は様々な面で努力をしているが、学校生活で生徒にゆとりがない。ゆとりを生み出せば、活気のある学校になると思う。 	<ul style="list-style-type: none"> ○毎月、安全点検を実施し、改善の実施状況を報告する。 ○キャリア教育を総合的な学習の時間や学級活動とより関連づけて実施する。 ○生徒の変容、夢と希望を持たせるための研修を行う。
	7 生徒に夢と希望と感動を与える学校である	2.6	2.5	2.5		
	8 生徒の変容を目指す学校である	2.5	2.6	2.5		
	9 礼節を重んじ美しく整備された学校である(礼を正す、場を清める)	2.9	2.7	2.8		
	10 地域社会と連携する開かれた学校である	2.6	2.6	2.6		
教師像	11 情熱を持ち使命感(学力向上、いじめ防止、地域連携)に徹している	2.8	2.8	2.8	<ul style="list-style-type: none"> ・使命感においては教科において差が感じられる。分析をしっかり行い改善策を提出させているが、教科によって、学力が伸びている教科と伸びていない教科が見られる。 ・保護者・生徒との信頼関係を築く必要がある。幅広く研修を実施し、豊かな教養を積み重ねる必要性を感じている。 	<ul style="list-style-type: none"> ○研修に努める時間が少なかったため、アンケートを採り、主題研以外の研修の充実を図り、豊かな教養を身につける。 ○ノート、ワークシート、教材、発問の工夫を行い、2回以上の授業研究と学力向上、人間力向上のための発表会を行う。 ○校長、教頭とで教科担と面談を行う。
	12 生徒の能力を最大限にのばしている(個性に応じた指導、少人数指導)	2.8	2.7	2.7		
	13 絶えず研修に努め指導力がある(生徒理解、授業力)	2.6	2.7	2.7		
	14 生徒・保護者の信頼に込めている	2.9	2.7	2.8		
	15 豊かな教養と国際的視野を持っている	2.7	2.4	2.6		
重点指導	16 確かな学力の向上に努めている	3.0	3.1	3.0	<ul style="list-style-type: none"> ・学力向上については、保護者はまだ不十分と感じている。ワークシートの作成や単元末テストなど工夫しているが、授業内容そのものの検討も常に必要で、本年度は一人1研究で授業改善を図った。まだ、改善の余地がある。 ・読書活動については、3者とも非常に低い値である。宮崎市の重点施策でもあるので、来年度は毎週木曜日の朝の学習の時間に実施し、また、10月から11月を読書月間にする予定である。 ・ボランティア活動、国際理解教育については特に教師の値が低く、研修を設定し意識付けを図りたい。 	<ul style="list-style-type: none"> ○相互参観授業を行うなど、道徳の充実を図る。 ○読書については、週1回朝の学習の時間をあてて、10月から11月にかけて、読書月間とする。また、朝の学習のプリントが終了した時点で読書に切り換える。 ○開かれた学校作り、外部人材の活用など考えていきたい。 ○地域との連携では、学校便りを自治会に配布する。保護者との連携においては、学級通信・学年通信を20回以上出すようにする。 ○人権教育～常時・特別指導をもう少し積極的に行いたい。掲示もコーナを作り、充実させる。
	17 読書活動を推進している	2.1	2.2	2.2		
	18 人権意識の高揚と心の教育を推進している	2.5	2.6	2.5		
	19 情報教育を推進している (宮崎市の重点事項)	2.5	2.6	2.5		
	20 ボランティア教育を推進している (宮崎市の重点事項)	2.5	2.1	2.3		
	21 国際理解教育を推進している (宮崎市の重点事項)	2.5	2.4	2.5		
	22 学校と家庭・地域社会との連携強化を図っている(各種通信、HP)	2.9	2.8	2.8		
	23 望ましい教育環境の醸成に努めている	2.8	2.9	2.8		

その他	24	江平小学校との連携を推進している(交流授業、作品交流、サマースクール)	3.2	3.2	・江平小とは十分連携を行っている。来年度以降、県も重点化する予定なので、継続していきたい。 ・もっと、本校に入学してよかったと思われるよう、基礎・基本をしっかり押さえ、自主的な活動を増やし、特色ある学校づくりを進めていきたい。 ○小中連携担当者を中心に、月1回以上の密接な連携を図る。 ○東中への進学を進めるために、交流授業はもちろん、部活動や行事への参加を計画する。 ○生徒の興味関心度を調べ、自主的な活動の比率を上げていく。
	25	宮崎東中学校に入学させてよかった	2.7	2.7	

- ・(教室の黒板横のカベが割れ かけていたり, 調理室の排水状況な
- ・生徒が自ら問題を考え, 解決したりより良くする活動を増やしていきたい。

- ・読書活動を定着させたい。
- ・読書を朝に取り入れたい。
- ・人権教育～常時・特別指導をもう少し積極的にやりたい。掲示も見られない。

・行事などでも、職朝での提案が多く、充分検討する時間がない。臨機応変な対応も必要だが、特別授業や変更、当日提案がかなり多く、生徒が混乱すると思う。校務部会→企画委員会→職員会議の流れをもう一度整備する必要があると思う。

- ・心を育てる活動を充実させたいと思う。
- ・たくましさに欠ける生徒が多少いる。
- ・係活動への取り組みが消極的な生徒が多い。
- ・地域・保護者の関わりがやや弱い。
- ・研修に努める時間的余裕がない。
- ・じっくり考えるためには、日頃から考える機会を設ける必要があると思う。読書の時間設定を行い、各教科にも「考える場面」を重視した指導計画を立て、実践を行うようにする。
- ・地域社会との連携は、何をどのように行うのかをはっきりさせて、取り組む必要がある。

- ・生徒像の中で、深く考え、自主的に学ぶ生徒の活動として、生徒集会などでどんどん発表させるとよい。
- ・諸活動の精選
- ・もう少し教師がゆとりを持って生徒と接することが出来るようにする。
- ・生徒に関しては、学力もさることながら、それ以前に体力・礼節・正義感を身につけて欲しい。

学校全体がせわしなく、行事も多いことから、教師が疲れているように見える。いつもいっぱいいっぱいという感じで、要領の良い者はスルッと抜けて横のつながりがうすいように見受けられる。教師一人一人の技量はすばらしく高いのに、教師間の関係が希薄であれば、生徒にどう影響するのか心配になる。行事の精選を行い、我が校が何を目指し、その実現のためにどう動くべきなのか、本気で考え、全職員で実行に移すべき時だと思う。